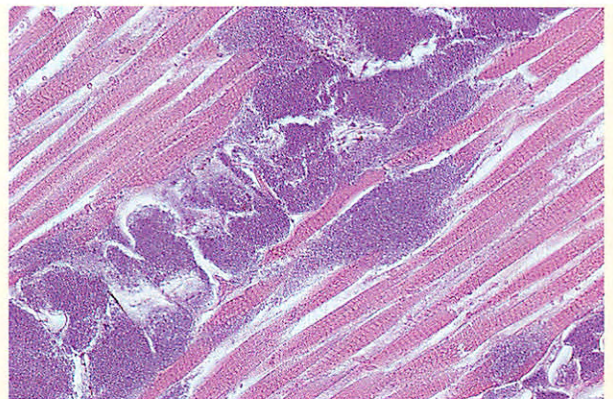


VI. 節足動物による病変 (ヒル症, 精子関連病変を含む)



ミツバチの胸部断面とオニヤンマ胸筋にみられた *Sarcocystis* 感染(HE 染色)

昆虫類の胸部はよく発達した横紋筋で満たされている。中央部を食道が通過する。左は、ミツバチ胸部の断面である。美しい対称性が観察される。右は、オニヤンマ胸筋に偶発的に見出された *Sarcocystis* と思われる原虫である。濃厚感染にもかかわらず、この成虫は元気に飛び回っていた。昆虫類の体内には気管系が張り巡らされており、ホルマリンはほとんど浸透しない。固定には、エタノールあるいはエタノール・ホルマリン等量混合液の注入が有効である。